

入り組んだ屋根に、大黒さん、恵比寿さんと思わしき鬼瓦と、まさしく角のある鬼の鬼瓦があがっている。  
皇族も宿泊されたという由緒あるお屋敷。

うだつらしきものがあがっている。

カトリック教会  
土塀に長い板塀。門をくぐると尖った三角屋根の建物とかわいらしい鐘がある。  
母屋は寺院風の建物。

山水の分配管を板で囲ったもの。玄関や塀には特徴がある地役人風の建物。2階の窓は虫籠窓。

煙抜きのある屋根。鳥の子色の壁に細かい格子。

お寺にはカラミ石が多く使用されている。山の斜面に沿うように建てられているので、急な石段の参道が多い。

ちょっと腰をかけて、町並みを見おろす一服ポイント。

寺町などに集中して、路地の脇に数個の井戸が点在している。生活用水 防火用水などに使われていた。

史跡生野銀山、銀山湖、魚ヶ滝へ

この先を上がるとお寺が多い寺町へ。江戸から新しい代官が派遣されるたびに、代官が信仰する宗派のお寺が建立された。

生野町役場

風化した板壁が豊かな表情を持つ。

土台にカラミ石が使われている。

蔵、塀、蔵と連続する趣のある一角。藻黄色の鳥の子色の壁がやさしい。

格子に風情がある。

珍しいほどこしが入った瓦。

神姫バスのバス停  
建物の前に、縦長と平らな石と数個の石がおかれている。  
町内の他にもある謎の石。

喫茶店「ごんぼ」  
レンガ風の建物。  
コーヒーがうまい。

ゆっくりとカーブを描きながら積み上げられた高い石垣。むかし、生野銀山から生野書院あたりまで鉱石を運ぶトロッコが通っていた線路の跡。

姫宮神社広場

瀬戸内海へ流れ出す市川の源流。とげとげしく突起した岩の渓谷。海拔約300メートル、分水嶺の町を実感させる。

ごんぼ(アブラハヤ)や大きな赤と白の模様に入った鯉が泳いでいる深く淀んだ淵。

姫宮神社へ